職業実践専門課程等の基本情報について

学校名 麻生情報ビジネス 専	厚門学校	昭和60年12月	24日 瀧口	博俊	(住所) 神	312-0016 福岡市博多区博多駅南 192-415-2291	2-12-32		
設置者名		設立認可年	月日 代表	養者名			所在地		
学校法人麻生	塾	昭和26年3月	12日 理事長	麻生 健		320-0018 冨岡県飯塚市芳雄町3-3	33		
分野		認定課程名	認定学科名	2		948-25-5999 引士認定年度	高度専門士認定年	度 職業実	践専門課程認定年
工業		工業専門課程	情報システムプログラミング	科		16(2004)年度	-		成25(2013)年度
学科の目的	プログラマと	こしての実践力とチーム[引発で必要となるコミュニケ		ルを持ったエン	ジニアを育成する。			
学科の特徴(主な教 育内容、取得可能な 資格等)	基本情報技	術者試験							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要	な総授業時数又は総単位 数	講	義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	※単位時間、単位いずれか に記入	単位時間 62 単位	55	単位時間	単位時間 54 単位	単位時間 3 単位	単位時間 0 単位	単位時 0 単位
生徒総定員	生徒到	実員(A) 留学:	主数(生徒実員の内数)(B)	留学生害	削合(B/A)	中退率	<u>"</u>		1
80 人の内数	90	Д.	9 人	10	0%	7 %			
	■卒業者数	牧(C) :	62	l .	人				
	■就職希望 ■就職者数		46 46		<u> </u>				
	■地元就職	哉者数 (F)	21		人				
	■就職率((E/D) こ占める地元就職者の割			%				
		:占める就職者の割合(E	46		%				
	■単葉名数		74		% 				
就職等の状況	■進字者数 ■その他	X	12						
			オンライン・対面)を実施	ī					
	・就職斡旋	希望せず 4名							
	(令和		に関する令和7年5月1日	時点の情報)					
	■主な就職 (令和6年度	战先、業界等 ******							
	情報サービ								
	情報サービ	ia ia	== t==			der.			
	情報サービ	ごス 平価機関等から第三者				無			
第三者による 学校評価	情報サービ	ia ia							
第三者による 学校評価	情報サービ	ごス 平価機関等から第三者		受審年月:		ï	評価結果を掲載した ホームページURL		
学校評価	情報サービ	ごス 平価機関等から第三者 例えば以下について任意		受審年月:		ï	評価結果を掲載した ホームページURL		
学校評価 当該学科の ホームページ	情報サービ ■民間の記 ※有の場合、	ごス 平価機関等から第三者 例えば以下について任意	记載	受審年月:		ï	評価結果を掲載した ホームページURL		
学校評価 当該学科の	情報サーヒ ■民間の記 ※有の場合、 https://asc	平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: pjuku.ac.jp/abcc/sd/p	记載	受審年月:		ï	評価結果を掲載した ホームページURL		
学校評価 当該学科の ホームページ	情報サーヒ ■民間の記 ※有の場合、 https://asc	で 平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: piuku.ac.ip/abcc/sd/p	记載	受審年月:		ï	評価結果を掲載した ホームページURL		1
学校評価 当該学科の ホームページ	情報サーヒ ■民間の記 ※有の場合、 https://asc	平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: piuku.ac.ip/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数	记载 rogram/			ï	呼価結果を掲載した ホームページURL	0 単位時間]
学校評価 当該学科の ホームページ	情報サーヒ ■民間の記 ※有の場合、 https://asc	平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: piuku.ac.ip/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等	id載 rogram/ Fと連携した実験・実習・	実技の授業時		ï	評価結果を掲載した ホームページURL	単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	情報サーヒ ■民間の記 ※有の場合、 https://asc	デス 平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: piuku.ac.ip/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等	id載 rogram/ 「と連携した実験・実習・ と連携した演習の授業時	実技の授業時		ï	評価結果を掲載した ホームページURL	単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	情報サーヒ ■民間の記 ※有の場合、 https://asc	平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: piuku.ac.ip/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等	記載 rogram/ Eと連携した実験・実習・ を連携した演習の授業時 業時数	実技の授業時 数	等数		存価結果を掲載した ホームページURL	単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	情報サーヒ ■民間の記 ※有の場合、 https://asc	デス 平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: piuku.ac.ip/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等	rogram/	実技の授業時数 数 必修の実験・3	実習・実技の 技		存価結果を掲載した ホームページURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	情報サーヒ ■民間の記 ※有の場合、 https://asc	平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: iuku.ac.ip/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等	ici載 rogram/ Fと連携した実験・実習・ Fと連携した演習の授業時 楽時数 うち企業等と連携した場 うち企業等と連携した場	実技の授業時数 数 必修の実験・3 必修の演習の持	宇数 実習・実技の打 授業時数		存価結果を掲載した ホームページURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL	情報サーヒ ■民間の記 ※有の場合、 https://asc	平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: iuku.ac.ip/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等	rogram/	実技の授業時数 数 必修の実験・3 必修の演習の持	宇数 実習・実技の打 授業時数		存価結果を掲載した ホームページURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL と業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	情報サーヒ ■民間の記 ※有の場合、 https://ass	平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: piuku.ac.jp/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修打	ici載 rogram/ Fと連携した実験・実習・ Fと連携した演習の授業時 楽時数 うち企業等と連携した場 うち企業等と連携した場	実技の授業時数 数 必修の実験・3 必修の演習の持	宇数 実習・実技の打 授業時数		呼価結果を掲載した ホームページURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL と業等と連携した実 習等の実施状況	情報サーヒ ■民間の記 ※有の場合、 https://ass	平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: iuku.ac.ip/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修哲 (うち企業)	rogram/ Fと連携した実験・実習・ Fと連携した演習の授業時 楽時数 うち企業等と連携した場	実技の授業時数 数 必修の実験・3 必修の演習の持	宇数 実習・実技の打 授業時数		呼価結果を掲載した ホームページURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL と業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	情報サーヒ ■民間の記 ※有の場合、 https://ass	平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: iuku.ac.ip/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修打 (うち企素) 数による算定)	ici載 rogram/ Eと連携した実験・実習・ Eと連携した演習の授業時 業時数 うち企業等と連携したは うち企業等と連携したは	実技の授業時数 数 必修の実験・3 必修の演習の持	実習・実技の技 実習・実技の技 授業時数)		呼価結果を掲載した ホームページURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL ・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	情報サーヒ ■民間の記 ※有の場合、 https://ass	平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: piuku.ac.ip/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修担 (うち企ま 数による算定)	ici載 rogram/ を連携した実験・実習・ を連携した演習の授業時 楽時数 うち企業等と連携した。 うち企業等と連携した。 等と連携したインターン を連携した実験・実習・	実技の授業時数 必修の実験・3 必修の演習の持 シップの授業 実技の単位数	実習・実技の技 実習・実技の技 授業時数)		呼価結果を掲載した ホームページURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 電等の実施状況 (A、Bいずれかに	情報サーヒ ■民間の記 ※有の場合、 https://ass	平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: piuku.ac.ip/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修担 (うち企ま 数による算定) 総単位数 うち企業等	でのgram/ 「と連携した実験・実習・ 「と連携した演習の授業時 「実験数 「うち企業等と連携した。 うち企業等と連携した。 ま等と連携したインターン 「と連携した実験・実習・ こと連携した実験・実習・ こと連携した演習の単位数	実技の授業時数 必修の実験・3 必修の演習の持 シップの授業 実技の単位数	実習・実技の技 実習・実技の技 授業時数)		呼価結果を掲載した ホームページURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	情報サーヒ ■民間の記 ※有の場合、 https://ass	平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: piuku.ac.ip/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修担 (うち企ま 数による算定)	でのgram/ 「と連携した実験・実習・ 」と連携した演習の授業時 な楽時数 「うち企業等と連携した。 うち企業等と連携した。 「きと連携したインターン 「きと連携した「実験・実習・ と連携した演習の単位数	実技の授業時数 必修の実験・3 必修の演習の持 シップの授業 実技の単位数	実習・実技の技 実習・実技の技 授業時数 (8時数)	要素時数	呼価結果を掲載した ホームページURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 0 単位 3 単位	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 電等の実施状況 (A、Bいずれかに	情報サーヒ ■民間の記 ※有の場合、 https://ass	平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: piuku.ac.ip/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修担 (うち企ま 数による算定) 総単位数 うち企業等	rogram/ た連携した実験・実習・ を連携した演習の授業時 楽時数 うち企業等と連携した。 うち企業等と連携した。 な等と連携したインターン をと連携した実験・実習・ をと連携した演習の単位数 では、実験・実習・ をと連携した。 をと連携した。 をと連携した。 をと連携した。 をと連携した。 をと連携した。 をと連携した。	実技の授業時数 必修の実験・3 必修の演習の持 シップの授業 実技の単位数 必修の実験・3	実習・実技の拍 授業時数 (終時数) な	要素時数	呼価結果を掲載した ホームページURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 0 単位 3 単位 3 単位 3 単位	
学校評価 当該学科の ホームページ URL と業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	情報サーヒ ■民間の記 ※有の場合、 https://ass	平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: piuku.ac.ip/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等 うち必修哲 数による算定) 総単位数 うち企業等 うち企業等	rogram/ 「と連携した実験・実習・ 」と連携した演習の授業時 業時数 うち企業等と連携した。 」を連携した不少ターン 」と連携した実験・実習・ 」と連携した演習の単位数 「うち企業等と連携したが演習の単位数 「うち企業等と連携したがある。」 「うち企業等と連携したがある。」 「うち企業等と連携したがある。」 「うち企業等と連携したがある。」 「うち企業等と連携したがある。」 「うち企業等と連携したがある。」 「こればいる。」 「こればいる。」 「こればいる。」 「こればいる。」 「こればいる。」 「こればいる。」 「これば	実技の授業時数 必修の実験・3 必修の演習の持 シップの授業 実技の単位数 必修の演習のも	実習・実技の担 授業時数) な 実習・実技の単 単位数	要素時数	呼価結果を掲載した ホームページURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 3 単位 3 単位 3 単位 3 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等を連携した実	情報サーヒ ■民間の記 ※有の場合、 https://ass	平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: piuku.ac.ip/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等 うち必修哲 数による算定) 総単位数 うち企業等 うち企業等	rogram/ た連携した実験・実習・ を連携した演習の授業時 楽時数 うち企業等と連携した。 うち企業等と連携した。 な等と連携したインターン をと連携した実験・実習・ をと連携した演習の単位数 では、実験・実習・ をと連携した。 をと連携した。 をと連携した。 をと連携した。 をと連携した。	実技の授業時数 必修の実験・3 必修の演習の持 シップの授業 実技の単位数 必修の演習のも	実習・実技の担 授業時数) な 実習・実技の単 単位数	要素時数	呼価結果を掲載した ホームページURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 0 単位 3 単位 3 単位 3 単位	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	情報サーヒ ■民間の記 ※有の場合、 https://ass	平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: piuku.ac.ip/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等 うち必修哲 数による算定) 総単位数 うち企業等 うち企業等	rogram/ 「と連携した実験・実習・ 」と連携した演習の授業時 業時数 うち企業等と連携した。 」を連携した不少ターン 」と連携した実験・実習・ 」と連携した演習の単位数 「うち企業等と連携したが演習の単位数 「うち企業等と連携したがある。」 「うち企業等と連携したがある。」 「うち企業等と連携したがある。」 「うち企業等と連携したがある。」 「うち企業等と連携したがある。」 「うち企業等と連携したがある。」 「こればいる。」 「こればいる。」 「こればいる。」 「こればいる。」 「こればいる。」 「こればいる。」 「これば	実技の授業時数 必修の実験・3 必修の演習の持 シップの授業 実技の単位数 必修の演習のも	実習・実技の担 授業時数) な 実習・実技の単 単位数	要素時数	存価結果を掲載した ホームページURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 3 単位 3 単位 3 単位 3 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL ・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	情報サーヒ ■民間の記 ※有の場合、 https://ass	正ス 平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: Diuku.ac.jp/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修打 数による算定) 総単位数 うち企業等 うち必修項 (うち企業等 うち必修項 (うち企業等)	rogram/	実技の授業時数 必修の実験・3 必修の実験・3 シップの授業 実技の単位数 必修の実験・3 シップの単位 こおいてその	実習・実技のA 授業時数 時数) な 実習・実技の単単位数 12数)	要素時数	呼価結果を掲載した ホームページURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 3 単位 3 単位 3 単位 3 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等を連携した実	情報サーヒ ■民間の記 ※有の場合、 https://ass	正ス 平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: piuku.ac.jp/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修打 のする教業 のする教業 のする教業 のする教業 のする教業 のする教業 のする教業 のでは、 の事件で事業 のでは、 の事件である。 の事件できををををををををきる。 の事件できる。 の事件できる。 の事件できる	rogram/ Fと連携した実験・実習・ と連携した演習の授業時 業時数 うち企業等と連携した。 うち企業等と連携した。 等と連携したインターン Fと連携した演習の単位数 「うち企業等と連携した。 「うち企業等と連携した。 「うち企業等と連携した。 「うち企業等と連携した。 「うち企業等と連携した。 「うち企業等と連携した。 「うち企業等と連携した。 「うち企業等と連携した。 「うち企業等と連携した。 「	実技の授業時数 必修の実験・3 必修の演習の対 シップの授業 実技の単位数 シ修の演習の対 ながら、できないできない。 ないてきないできないできないできないできないできないできないできない。	等数 実習・実技の打 授業時数) な 実習・実技の単 単位数 、数)	要素時数	ホームページUR L	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 3 単位 3 単位 3 単位 3 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL ・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	情報サーヒ ■民間の記 ※有の場合、 https://ass	正ス 平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: piuku.ac.ip/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修批 (うち企ま 数による算定) 総単位数 うち企業等 うち必修批 (うち企業等 うち必修批 (うち企ま) (うち企う)	rogram/ 「と連携した実験・実習・ 」と連携した演習の授業時 を実験を連携した演習の授業時 の方の企業等と連携したインターン 「と連携した実験・実習・ 」を連携したインターン 「と連携した実験・実習・ 」と連携したな演習の単位数 「うち企業等と連携したが うち企業等と連携したが まと連携したが いた者であって、当該専門	実技の授業時数 必修の実験・3 必修の演習の対 シップの授業 実技の単位数 シ修の演習の対 ながら、できないできない。 ないてきないできないできないできないできないできないできないできない。	等数 実習・実技の打 授業時数) な 実習・実技の単 単位数 、数)	受業時数	ホームページUR L	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 3 単位 3 単位 3 単位 3 単位 0 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携した実	情報サーヒ ■民間の記 ※有の場合、 https://ass	正ス 平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: piuku.ac.ip/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修担 (うち企ま 数による算定) 総単位数 うち企業等 うち必修担 (うち企ま	TOGRAM/ TOGRAM/ 「と連携した実験・実習・ 「と連携した演習の授業時 「実時数 「うち企業等と連携した。 うち企業等と連携した。 「ままままます。」 「おきな、実際・実習・ 」を連携した。 「なって、実際・実習・ 」を連携した。 「なって、実際・実習・ と連携した。 「なって、実際・実習・ と連携した。 「なって、実際・実習・ と連携した。 「なって、実際・実習・ とは、学校等に した者であって、当該専門した。 した。 「は、学校等に した。 した。 「は、学校等に した。 した。 「は、学校等に した。 した。 は、学校等に した。 した。 した。 は、当まな、学校等に した。 した。 は、一、 は、した。 は、一、 は、した。 は、一、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	実技の授業時数 必修の実験・3 必修の演習の対 シップの授業 実技の単位数 シ修の演習の対 ながら、できないできない。 ないてきないできないできないできないできないできないできないできない。	宗智・実技の技 授業時数 (時数) を 東習・実技の単 単位数 な数)	是業時数 単位数 	ホームページUR L	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等を連携した実	情報サーヒ ■民間の記 ※有の場合、 https://ass	正ス 平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: Diuku.ac.jp/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修批 (うち企業 うち必修批 (うち企業 うち必修 (うち企業 うち必修 (うち企業 である の事に従事 者 (うち企ま () 専修学校の専門関連 を対して、 の事では事者 () 学士の学位を有す	rogram/ Fと連携した実験・実習・ を連携した演習の授業時 業時数 うち企業等と連携したが うち企業等と連携したが うち企業等と連携したが を連携したインターン 「と連携した実験・実習・ をと連携したが、 をできるが、 をできるが、 とできるが、 とできるが、 をできるが、 をできるが、 とできなが、 と	実技の授業時数 必修の実験・3 必修の演習の対 シップの授業 実技の単位数 シ修の演習の対 ながら、できないできない。 ないてきないできないできないできないできないできないできないできない。	宗習・実技のA 授業時数 (専修学 (専修学	是案時数 並位数 並校設置基準第41条第1項第	ホームページUR L	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 0 単位 3 単位 3 単位 0 単位 7 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに 記入)	情報サート ■民間の語 ※有の場合、 https://ase	正ス 平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: piuku.ac.jp/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修計 (うち企業 うち必修計 (うち企業 うち必修計 (うち企業 である の事情が事に、 の事情が事業務に、 である。 の事情が事業務に、 の事情が事業務に、 の事情が事業務に、 の事情が事業務に、 の事情が事者 の事情が事業務に、 の事情が事者 の事情が事者 の事情が事務を の事情が事者 の事情が事者	ROSTAMA FORTAMA F	実技の授業時数 必修の実験・3 必修の演習の対 シップの授業 実技の単位数 シ修の演習の対 ながら、できないできない。 ないてきないできないできないできないできないできないできないできない。	序数 実習・実技の担 授業時数 (専修学 (専修学	受業時数 並位数 並校設置基準第41条第1項第 ・校設置基準第41条第1項第	ホームページURL 1号) 2号)	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携した実習等の実施状況 (A、Bいずれかに記入)	情報サート ■民間の語 ※有の場合、 https://ase	正ス 平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: Diuku.ac.jp/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修批 (うち企業 うち必修批 (うち企業 うち必修 (うち企業 うち必修 (うち企業 である の事に従事 者 (うち企ま () 専修学校の専門関連 を対して、 の事では事者 () 学士の学位を有す	ROSTAMA FORTAMA F	実技の授業時数 必修の実験・3 必修の演習の対 シップの授業 実技の単位数 シ修の演習の対 ながら、できないできない。 ないてきないできないできないできないできないできないできないできない。	序数 実習・実技の担 授業時数 (専修学 (専修学	是案時数 並位数 並校設置基準第41条第1項第	ホームページURL 1号) 2号)	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 0 単位 3 単位 3 単位 0 単位 7 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携した実習等の実施状況 (A、Bいずれかに記入)	情報サート ■民間の語 ※有の場合、 https://ase	正ス 平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: piuku.ac.jp/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修計 (うち企業 うち必修計 (うち企業 うち必修計 (うち企業 である の事情が事に、 の事情が事業務に、 である。 の事情が事業務に、 の事情が事業務に、 の事情が事業務に、 の事情が事業務に、 の事情が事者 の事情が事業務に、 の事情が事者 の事情が事者 の事情が事務を の事情が事者 の事情が事者	ROSTAMA FORTAMA F	実技の授業時数 必修の実験・3 必修の演習の対 シップの授業 実技の単位数 シ修の演習の対 ながら、できないできない。 ないてきないできないできないできないできないできないできないできない。	等数 実習・実技の打 授業時数 (専修学 (専修学 (専修学	受業時数 並位数 並校設置基準第41条第1項第 ・校設置基準第41条第1項第	ホームページURL 1号) 2号) 3号)	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した実習の実施状況 (A、Bいずれかに記入)	情報サート ■民間の語 ※有の場合、 https://ase	正ス 平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: piuku.ac.jp/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修批 (うち企業 うち必修批 () () () () () () () () () () () () () (ROSTAMA FORTAMA F	実技の授業時数 必修の実験・3 必修の演習の対 シップの授業 実技の単位数 シ修の演習の対 ながら、できないできない。 ないてきないできないできないできないできないできないできないできない。	等数 実習・実技の打 授業時数 (専修学 (専修学 (専修学	是案時数 並校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	ホームページURL 1号) 2号) 3号)	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 3 単位 3 単位 3 単位 0 単位 7 人	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 電等の実施状況 (A、Bいずれかに	情報サート ■民間の語 ※有の場合、 https://ase	正ス 平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: piuku.ac.jp/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修打 (うち企業 ショウを受けるのでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	ROSTAMA FORTAMA F	実技の授業時数 必修の実験・3 必修の演習の対 シップの授業 実技の単位数 シ修の演習の対 ながら、できないできない。 ないてきないできないできないできないできないできないできないできない。	等数 実習・実技の打 授業時数 (専修学 (専修学 (専修学	是案時数 並校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	ホームページURL 1号) 2号) 3号)	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 3 単位 3 単位 0 単位 7 人 3 人 0 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した実習の実施状況 (A、Bいずれかに記入)	情報サート ■民間の語 ※有の場合、 https://ase	正ス 平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: piuku.ac.ip/abcc/sd/p 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修打 (うち企ま 数による算定) 総単位数 うち企業等 うち必修打 (うち企ま 3 高等学校育等に従事者 ② 学士の学位を有す ③ 高等学位又は専 (5 その他 計	ROSTAMA FORTAMA F	実技の授業時数 必修の実験・3 シップの授業 実技の単位数 シップの授業 実技の単位数 シップの授業 において単位数 こおいてその検索 に以上となる	宗教 実 実 技 の 杉 授業 時 数)	4位数 - 校設置基準第41条第1項第 - 校設置基準第41条第1項第 - 校設置基準第41条第1項第 - 校設置基準第41条第1項第	ホームページURL 1号) 2号) 3号) 4号)	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 3 単位 3 単位 0 単位 7 人 3 人 0 人	

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教員が定期的に企業訪問を行い、IT業界の動向や即戦力育成のために必要となる知識や技術などを把握する目的で企業に所属しているエンジニアに対して業界動向や新技術のヒアリングを実施する。さらに、当校での就職をサポートしている部署が企業に対してアンケートを実施し、それらの結果を元に、授業科目の開設・変更・廃止に関する検討を行う。カリキュラム会議で授業内容や方法に関して話し合い、カリキュラム案を作成、教育課程編成委員会で(1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項(2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項(3)教科書・教材の選定に関する事項(4)その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項に関して、各方面からの意見を集約し承認を得て授業科目の開設や方法の改善としてまとめる。使用するハードウェアやソフトウェアに関しては、授業運営を実践するために必要となるものを準備して効果的に授業を実施する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

専門性に関する動向や業界動向等について意見交換を行い、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として教育課程編成委員会を校長の下 に設置する。

教育課程編成委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1)教育課程の編成の責任者又はそれに準ずる者
- (2)専攻分野に関する企業等の役職員又は有識者 2人以上
- (3)委員会が必要と認める教員 1人以上

| 委員会では、前年度の取組みの結果を元に担当教員が作成したカリキュラム案を提示し、カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項ならびに各授 |業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項等について審議する。

教育課程編成委員会の意見は、各学科または各系のカリキュラム会議において、カリキュラムの改善(授業科目の新設、改変や、授業方法の改善・ 工夫)につなげるべく審議されたのち、校長の許可を経て決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
豊里 明寛	一般社団法人福岡県情報サービス産業協会 企画調査委員会 委員長	令和7年4月1日~令和8年3月31日 (1年)	1
土井 隆徳	株式会社ジャステック 製造本部2部 福岡営業所長	令和7年4月1日~令和8年3月31日 (1年)	3
飯尾 信博	株式会社ゲット 営業マネージャー	令和7年4月1日~令和8年3月31日 (1年)	3
金丸 浩二	株式会社タク・コムニカツヨン CTO	令和7年4月1日~令和8年3月31日 (1年)	3
岡部 浩太郎	SCSK九州株式会社 ビジネスシステム部営業課 担当課長	令和7年4月1日~令和8年3月31日 (1年)	3
開 道雄	キーウェア九州株式会社 経営管理部 担当部長	令和7年4月1日~令和8年3月31日 (1年)	3
竹末 雅輝	株式会社システムソフト 西日本システムソリューション部 部長	令和7年4月1日~令和8年3月31日 (1年)	3
川野 啓祐	麻生情報ビジネス専門学校 主任	令和7年4月1日~令和8年3月31日 (1年)	_
志水 徹	麻生情報ビジネス専門学校 副主任	令和7年4月1日~令和8年3月31日 (1年)	_
久家 政人	麻生情報ビジネス専門学校 リーダー	令和7年4月1日~令和8年3月31日 (1年)	_
今村 美穂	麻生情報ビジネス専門学校 サブリーダー	令和7年4月1日~令和8年3月31日 (1年)	_
村上 香代	麻生情報ビジネス専門学校 サブリーダー	令和7年4月1日~令和8年3月31日 (1年)	_
染矢 裕美子	麻生情報ビジネス専門学校 サブリーダー	令和7年4月1日~令和8年3月31日 (1年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。
- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
 - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (6月、10月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年7月11日 16:00~18:00

第2回 令和6年12月10日 16:00~18:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

学生のモチベーションを維持することが重要であるとの意見をいただいたことから、前年度に導入した新カリキュラムを継続することとした。また、実務に おいては生成AIを活用できることが前提となり、その正確性を検証する能力が求められるとの意見を参考に、情報システム科の選択科目として「生成AI 入門」を新たに取り入れることとした。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

基礎知識を体系的に学習した学生に対して、実践能力を向上させる目的で研究テーマの選定や技術指導など、演習科目を中心に企業等と連携した授業を実施する。実践的な技術指導を受けるだけでなく、技術者と直接コミュニケーションの機会を多く持つように運用する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

連携科目は授業内容や評価基準について事前に企業と協議して決定している。授業内では、設計技術、ドキュメンテーション技術及び チームマネジメントについての実践的な指導をいただく。成果物(システム企画書、各種設計書類、作成したソフトウェア)、プレゼンテーション、実機でのデモンストレーションなどと併せて総合的に判断し、事前に設定した評価基準に基づき学習評価を行っていただく。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連 携 企 業 等	
システム開発実習 I	2.【校内】企業等からの 講師が一部の授業のみを 担当	グループでテーマの設定およびシステム企画を行い、設計書を作成する。設計書に基づいてシステム開発を行い、成果をプレゼンテーションする。中間レビューや成果発表などで企業の評価をもらうことで実践力を育成する。	株式会社タク・コムニカツヨン 株式会社ラピードアクト	

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教職員に対して、現在就いている職務又は将来就くことが予想される、職務の遂行に必要な知識・技能を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的として研修を受講させる。「教職員研修規程」に則り、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、より高度な職務を遂行するために必要な知識を修得させる。年度の初めに研修計画を作成し、各教職員のスキルに適した研修が、計画的に受講できるようにする。また必要に応じ、年初の計画以外の研修受講も可能としている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: Javaプログラミング基礎 連携企業等: 株式会社富士通ラーニングメディア

期間: 令和6年8月19日~21日 対象: 情報システム科担当(高松)

内容
実践的なJavaプログラミングでオブジェクト指向を学び、基本文法から応用まで、確かなスキルを身につける。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: コーチング実践 連携企業等:組織デザイン・ラボ

期間: 令和6年6月19日(水) 対象:情報システム科担当(岩本)

内容 欠席しがちで、やる気が落ちている学生の対応事例を使って効果的な質問を作り、実践する。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: はじめてのVue.js 3 入門!jQuery を使わないウェブ開発 連携企業等: Udemy

期間: 令和7年8月22日(金) 対象: 情報システム科担当(染矢)

内容 Vue.js 3 を用いてjQuery を使わないウェブ開発導入からアプリケーション開発まで体系的に学ぶ

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 教育とハラスメントの境界線~アカハラとカスハラを学ぶ 連携企業等: 吉田総合法律事務所

期間: 令和7年8月20日(水) 対象:情報システム科担当(元田)

内容アカデミックハラスメントの定義や具体的な事例を通して、指導時に注意すべきポイントを学ぶ。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行う に当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正におこなわれているかを企業関係者、保護者等、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公表することにより、開かれた学校づくりをおこなう。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2)学校運営	運営方針、事業計画、人事·給与規程、業務効率化、他
(3)教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、実践的な職業教育、教職員の資質向上、他
(4)学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、就職率、退学率、他
(5)学生支援	修学支援、生活支援、進路支援、卒業生への支援、他
(6)教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、図書室の整備、他
(7)学生の受入れ募集	APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8)財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9)法令等の遵守	専修学校設置基準の遵守、学内諸規程の整備・運用、自己点検・評価、他
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献、地域貢献、学生のボランティア活動の推奨、他
(11)国際交流	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学生の理解度に大きな差が見られる現状に対しては、従来、選択授業や補講等の時間数を増加させることで対応してきた。しかし、教員の 業務負担軽減にも配慮すべきであるとの意見をいただいた。この意見を踏まえ、情報システム科では、カリキュラムおよびシラバスの変更に あたり、単に授業時間数を増加させるのではなく、授業内容を重点的に見直す方針とした。これにより、理解度の低い学生にも理解を促進 できるよう、授業方法に工夫を取り入れることにした。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和7年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
増本 光子	情報工学科高度ネットワーク・セキュリティ専攻 保護者	令和7年4月1日~ 令和8年3月31日(1年)	保護者等
中園 晴久	株式会社藤本コーポレーション 平成6年度情報経理科 卒業生	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	卒業生
浦川 美代子	自治会長 博多駅南1丁目1区 自治会長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	地域住民
大山 明	久留米市外三市町高等学校組合立三井中央高等学校 学校長	令和7年4月1日~ 令和8年3月31日(1年)	高等学校関 係者
豊里 明寛	一般社団法人福岡県情報サービス産業協会 企画調査委員会委員長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員
前田 真	福岡地域戦略推進協議会 事務局次長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員
馬場 伸一	NPO法人 QUEST 事務局長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員
小林 憲一	小林憲一税理士事務所 所長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員
谷口 浩司	リコージャパン株式会社 デジタルサービス営業本部 福岡支社文教自治体営業部 文教グループリーダー	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員
菊本 健司	株式会社アルファクス・フード・システム 常務執行役員	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) · 広報誌等の刊行物 · その他())

URL: https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/abcc/2025/hyoka.pdf

公表時期: 令和7年10月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者、保護者等などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	歴史、教育理念、教育目標、ASOの考え方、学びのPOINT
(2)各学科等の教育	入学者受入れ方針、教育課程編成・実施方針、カリキュラム、資格実績、就職実績
(3)教職員	教員一覧及び実務家教員科目
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5)様々な教育活動・教育環境	学園祭、部活動・サークル活動、学外ボランティア
(6)学生の生活支援	生活環境サポート、留学生キャンパスライフ
(7)学生納付金・修学支援	学費とサポート、学習支援
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、財産目録、監査報告書
(9)学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	留学生入学案内、留学生学べる分野、グローバル教育
(11)その他	

))

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(URL:

https://asojuku.ac.jp/abcc/

公表時期: 令和7年7月31日

授業科目等の概要

			果程情報システム	ム科プログラミング専攻)令和7年度										計 教員			
	分類							授	業プ	法	場	所	教	員			
	選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授 業 時 数	単位数	講	演習	実験・実習・実技			専任	兼任	企業等との連携		
1	0		情報システム 基礎 I	情報検定のハードウェア、ソフトウェアおよび ストラテジー領域について学ぶ	1 前	30	2	0			0		0				
2	0			情報検定のネットワークおよびセキュリティ領 域について学ぶ	1 前	60	4	0			0		0				
3	0		情報システム 基礎Ⅲ	情報検定のシステム開発、データベース、およ びマネジメント領域について学ぶ	1 前	60	4	0			0		0				
4	0		プログラミン グ基礎演習	HTML/CSSの基礎およびJavaScr ipt言語の入門レベルについて学ぶ	1 前	90	6		0		0		0				
5	0		AI基礎演習	身の回りに存在するAI技術の基礎を学び、また、自律型ロボットのプログラミング動作を経 験する	1 前	30	2		0		0		0				
6	0		ネットワーク 基礎演習 I	簡易的なW e b システムの構築を通してネット ワークとサーバー技術の全体像を学ぶ	1 前	30	2		0		0		0				
7	0		一般教養IA	国語、数学および英語の基礎能カアップを図 り、また、適性試験(SPI, CAB)対策を 行う	1 前	30	2	0			0		0				
8	0		ビジネスソフ トウェア演習 A	Windowsの基本操作とExcelの使用 方法を学ぶ	1 前	30	2		0		0		0				
9	0		GCBI	グローバル化がますます進む社会の中で、感謝 と思いやりをベースに高い人間力と、世界で通 用するグローバル感覚を持った人材を目指す	1 前	16	1	0			0		0				
10	0		キャリアデザ インIA	学校生活における各種活動の準備と振り返りを 行い、また、基礎学力の向上を図り社会情勢や 時事問題について知識を広げ、自身のキャリア 設計を行う	1 前	16	1	0			0		0				
11	0			基本情報技術者試験のハードウェア、ソフトウ エア領域およびネットワーク、セキュリティ領 域について学ぶ	1 後	60	4	0			0		0				
12	0			基本情報技術者試験のシステム開発、データ ベース領域およびストラテジー・マネジメント 領域について学ぶ	1 後	60	4	0			0		0				
13	0		コ ン ピュ ー ターシステム Ⅲ	基本情報技術者試験のアルゴリズムについて学 ぶ	1 後	90	6	0			0		0				

			課程情報システム科プログラミング専攻)令和7年度 												
	分類							授	後業プ		場	所	教	員	
	選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授 業 時 数	単位数		演習	実験・実習・実技		校外	専任		企業等との連携
14	0		プログラミン グ演習 I	JavaScript言語の基礎について学ぶ	1 後	60	4		0		0		0		
15	0		一般教養IB	国語、数学および英語の基礎能力アップを図り、また、適性試験(SPI, CAB)対策を 行う	1 後	30	2	0			0		0		
16	0		ビジネスソフ トウェア演習 B	Windowsの基本操作とPowerPointを使用したプレゼンテーション方法を学ぶ	1 後	30	2		0		0		0		
17	0		キャリアデザ インIB	企業研究、履歴書作成、面接の方法について学 び就職試験に向けての準備を行う	1 後	30	2	0			0		0		
18	0		基礎数学	様々な数学分野の基礎を学ぶ	1 後	30	2	0			0		0		
19	0		コ ン ピ ュ ー ターオペレー ション演習 I	コンピューターの基礎的なコマンドライン操作 を学ぶ	1 後	30	2		0		0		0		
20	0		プログラミン グ演習ⅡA	プログラムの仕組みとJava言語の文法の基 礎を学ぶ	2 前	60	4		0		0		0		
21	0		Webプログ ラミング演習 IA	CSSフレームワークとJavaScript を使った動的なwebページ作成の基礎を学ぶ	2 前	30	2		0		0		0		
22	0		W e b プログ ラミング演習 Ⅱ A	PHPとDBを使ったサーバーサイド処理をも つwebページ作成の基礎を学ぶ	2 前	90	6		0		0		0		
23	0		データベース 基礎演習	DBの仕組みとDB管理アプリケーションを操作するSQLの基礎を学ぶ	2 前	30	2		0		0		0		
24	0		システム設計	プログラム仕様書の作成練習を通して外部設計 を中心に設計書作成手法について学ぶ	2 前	60	4	0			0		0		
25	0		ビ ジ ネ ス コ ミ ュ ニ ケ ー ション	ディスカッション、プレゼン、オンライン会議 などの手法を学ぶ	2 前	30	2		0		0		0		
26	0		GCBI	国際人として、「夢」と「ビジョン」と「志」 を持ち、仕事に対する高い意識を持った、世界 に貢献できる人材を目指す	2 前	16	1	0			0		0		
27	0		生成AI入門	生成AIについての入門的な理解を深め、社会で の活用方法や注意点を学ぶ	2 前	16	1	0			0		0		

			 果程情報システム	ム科プログラミング専攻)令和7年度											
		分 選択必修	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演 習	法 実験・実習・実技	<u>場</u> 校	校	事 任	兼	企業等との連携
28		0	情報処理試験 春対策	各区分の情報処理試験対策を行う	2 前	30	2	0		12	0		0		
29		0	情報セキュリ ティ	情報セキュリティの脅威やリスク、対策方法の 基礎を学ぶ	2 前	30	2	0			0		0		
30		0	データ分析基 礎	表計算などのツールを用いてデータ分析の基礎 を学ぶ	2 前	30	2	0			0		0		
31		0	一般教養Ⅱ A	国語、数学および英語の応用カアップを図り、 適性試験対策を行う	2 前	30	2	0			0		0		
32		0	プログラミン グ演習ⅡB	Java言語を使ったプログラム作成の基礎を 学ぶ	2 後	60	4		0		0		0		
33		0	Webプログ ラミング演習 IB	JavaScriptフレームワークを使った 動的なwebページ作成方法の基礎を学ぶ	2 後	60	4		0		0		0		
34		0	W e b プログ ラミング演習 Ⅱ B	PHPとDBを使ったサーバーサイド処理をも つwebページの作成方法を実践的に学ぶ	2 後	90	6		0		0		0		
35	0		システム開発 実習 I	システム構築のための要件定義、概要設計、詳 細設計等、設計工程の実践的演習により一連の 設計手法を学ぶ	2 後	90	3			0	0		0	0	0
36		0	クラウド基礎	セキュアなクラウド環境の実装と運用、管理に 必要なスキルと知識を学ぶ	2 後	30	2	0			0		0		
37		0	情報処理試験 秋対策	各区分の情報処理試験対策を行う	2 後	20	1	0			0		0		
38		0	プログラミン グ基礎 I	Java言語の基本文法を学び、基礎的なプロ グラムの作成方法を学ぶ	2 後	30	2		0		0		0		
39		0	Webプログ ラミング基礎 I	PHP言語の基本文法を学び、基礎的なweb ページサイトの作成方法を学ぶ	2 後	30	2		0		0		0		
40		0	一般教養ⅡB	国語、数学および英語の応用カアップを図り、 適性試験対策を行う	2 後	30	2	0			0		0		

				課程情報システ 』	ム科プログラミング専攻) 令和7年度				-	- 1112		L 15		J.11	_	
		分類					125		授	業プ		場	<u></u>	教	貝	
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授 業 時 数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	企業等との連携
41		0		ナー	ビジネスマナーの基本および、オフィスでの状 況対応能力を身に付ける	2 後	30	2	0			0		0		
			合	計	41	科	·目			112 ((1734)	単	位	(単位	立時「	間)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
・学則に定める修業年限以上在学していること ^{卒業要件:} ・必修科目と選択科目から学科毎に定められた単位数を修得していること	1 学年の学期区分	2 期
・学科ごとに指定された講義科目群と演習科目群の中から必要な授業科目を履修する ・授業科目は、定められた年次にそれぞれ履修しなければならない場合がある 履修方法:・必修科目の単位は必ず修得しなければならない ・指定された履修年次に単位を修得できなかった必須科目は、原則として、次の学期または学年に 再履修しなければならない	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。